

令和2年度県立和歌山東高等学校（全日制課程）聴講生の募集に関する要項

1 趣旨

この要項は、一人一人の学びを実現する生涯学習の振興及び社会に開かれた教育課程の実現をめざし、本校の特定の科目について履修を希望する社会人の方を聴講生として受け入れるに当たり、必要な事項を定めるものです。

2 聴講の方法

本校の教育課程に位置付けられた教科・科目のうちから教育展開上支障のない範囲で、社会人の方を聴講生として受け入れ、生徒とともに学んでいただきます。

なお、授業で実施する実験や実習、レポート提出等を含め、原則として生徒と同様の扱いとします。

3 応募・問合せ先

和歌山県立和歌山東高等学校（全日制課程） 担当： 教 頭

〒 640-8312 和歌山市森小手穂136

TEL (073) 472-5620

4 募集に関する事項

(1) 募集期間 令和2年2月7日（金）～令和2年4月1日（水）

（ただし、土曜日・日曜日・祝日を除く）

	募集課程	教科	科目	授業日時	受入人数	聴講期間
1	全日制	地歴	発展社会	時間割が決定次第更新	1	未定（時間割が決定次第更新）
2	全日制	数学	実用数学	時間割が決定次第更新	2	未定（時間割が決定次第更新）
3	全日制	商業	簿記	時間割が決定次第更新	2	未定（時間割が決定次第更新）

全日制 1限：9：00～9：50、2限：10：00～10：50

3限：11：00～11：50、4限：12：00～12：50

5限：13：30～14：20、6限：14：30～15：20

(2) 受講開始日時 聴講手続き完了次第（4月中旬以降）

(3) 科目の内容等

① 科目名：発展社会

ア 科目の内容

これまでに学んできたことや現在、向き合っている課題を探求し、日本史・世界史・地理と限定せず、受験に対応しきれなかった分野を補うよう学習していきます。

イ 受講に当たっての前提条件

特になし

ウ 目 標

演習問題で試験のパターンや出題傾向を習得し、受験に対応できるよう学習します。

② 科目名：実用数学

ア 科目の内容

中学数学と数学Ⅰ・Ⅱの基礎知識を復習しながら、問題を解くために必要な計算力と公式の理解を培います。

イ 受講に当たっての前提条件

特になし

ウ 目 標

国民的教養の資質を高めるとともに、将来の教養（就職）試験対策を視野に入れて実力を身につけることができるよう学習していきます。

③ 科目名：簿 記

ア 科目の内容

個人企業における簿記（全国商業高等学校協会の簿記検定3級の範囲）を学習します。取引に関する仕訳から勘定の記入を経て、決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みを教科書や問題集を活用して進めていきます。

イ 受講に当たっての前提条件

特になし

ウ 目 標

企業において、日常発生する取引を合理的・能率的に記帳する知識と技術を身につけ、企業の会計制度の基礎を理解させるとともに、ビジネスの諸活動を統計的に的確に把握する能力と態度を育てます。また、1月下旬に全国商業高等学校協会簿記実務検定3級を受験して、合格を目指します。

5 応募に関する事項

(1) 応募資格

聴講生として応募することのできる方は、県内に在住又は勤務する方で、学習意欲があり、次に掲げるいずれにも該当しない方とします。

- ① 現在、義務教育段階の普通教育を受けている方
- ② 未成年者で、聴講の申請にあたって、その保護者の同意を得ていない方
- ③ 高等学校の秩序を乱すおそれがあると認められる方
- ④ 他の高等学校に在籍している方

(2) 応募方法

「聴講承認申請書」に必要事項を記載し、本校に提出してください。

なお、「聴講承認申請書」の提出に当たっては、事前に本校に連絡の上、必ず聴講を希望される本人が持参してください。

提出場所：本校事務室

提出日時：前記4（1）に示した募集期間の午前9時～午後4時

- ※1 「聴講承認申請書」の提出に当たっては、県内に在住又は勤務していること及び生年月日を証明する書類を持参してください。

県内在住が証明できる書類：(例) 住民票、自動車運転免許証、健康保険証等

県内在勤が証明できる書類：(例) 勤務地が明記されている社員証等

- ※2 来校に当たっては、予め電話で連絡してください。

6 聴講の承認

(1) 方法

「聴講承認申請書」の記述内容の審査や面接の実施など、必要な選考を行った上で、聴講の承認の可否を決定します。

なお、聴講申請者が受入人数を上回った場合には、抽選で決定します。

(2) 公開抽選の日時

令和2年4月中旬

(3) 公開抽選の会場

本校応接室

7 聴講までの手続き及び費用

(1) 聴講の承認の連絡

令和2年4月中旬以降、聴講申請者全員に結果を連絡します。

(2) 聴講承認書の交付及び聴講にかかる費用の徴収方法等の説明

令和2年4月中旬（聴講承認後）、本校応接室にて、聴講承認書の交付及び聴講にかかる費用の徴収方法や聴講に当たっての諸注意等の説明を行いますので、出席してください。

（出席できない方は、事前に連絡してください。また、その場合は、本校の指示する別日程に、本校事務室にお越しいただくことになります。）

(3) 聴講にかかる費用

ア 授業料（県の条例で定められている金額です。）

1単位（週1時間）当たり

全日制課程 4,812円、定時制課程 1,740円、通信制課程 336円

(ア) 発展社会（3単位）：14,436円

(イ) 実用数学（2単位）：9,624円

(ウ) 簿記（4単位）：19,248円

校長が指定した聴講を開始する日までに納付してください。

イ テキスト代等

(ア) 発展社会：テキスト代不要

(イ) 実用数学：600円程度

(ウ) 簿記：4,000円程度（テキスト2,700円程度、検定料1,300円）

請求日から起算して、15日以内に納付してください。

すでに納付したテキスト代等については、特別の理由がある場合を除き、返金しかねますので了承願います。

8 修了の認定

(1) 認定方法

聴講の出席状況及び実験や実習、レポート提出等を含めた取組状況等から、聴講の成果が当該科目の目標に照らして満足できると認められる場合には、当該科目の聴講について修了を認定します。

(2) 聴講修了証書等の発行

本校での聴講を修了したと認めた方には、聴講修了証書を交付します。

なお、聴講（修了）証明書の交付に当たっては、県の条例に基づき、手数料（1通410円 令和元年12月25日現在）が必要になります。

9 聴講の承認の取消し

次の各号のいずれかに該当するときは、聴講の承認の全部又は一部を取り消すことがあります。
なお、この場合、授業料は月割計算（取り消された日の属する月を含む。）をします。

- (1) 正当な理由がないのに引き続き1月以上出席しないとき。
- (2) 偽りその他不正の行為により聴講の承認を受けたとき。
- (3) 高等学校の秩序を乱し、その他聴講生としての本分に反したとき。
- (4) 納期限までに授業料等を納付しないとき。
- (5) 学則及びその他の規則に違反したとき。
- (6) 高等学校における教育活動に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- (7) その他校長が聴講の承認の取消しが必要と認めるとき。

10 その他注意事項

- (1) 本校敷地内は禁煙です。
- (2) 校内では本校が準備する名札を着用してください。
- (3) 自動車での登校はできません。
- (4) 学校における結核対策として、聴講を承認された方は、1年以内に実施した胸部エックス線検査で、結核等の所見がないことを証明した書類を提出願います。